

## 折版ジョイント工法で屋根 30 分耐火構造認定を取得 「フラットジョイント®」の販売開始について

三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：青木栄一）は、従来の折版ジョイント工法の課題であった「フラットな意匠」「漏水リスク低減」「省力・省人施工」「耐火認定の取得」をテーマに開発を進めてきた折版のジョイント工法「フラットジョイント（丸馳折版Ⅱ型専用）」を、2024年8月より販売開始いたします。

「フラットジョイント」は、折版の重ね部を弊社深谷製作所(埼玉県深谷市)で精度高くプレス加工し、専用の防水材を貼付けた屋根材（最大 10m）で、重ね部に段差がない「フラットな意匠」、重ね部をビス固定しないことで「漏水リスクを大幅に低減」させ、現場成型が困難な現場や急勾配屋根での「省力・省人施工」を可能にしました。

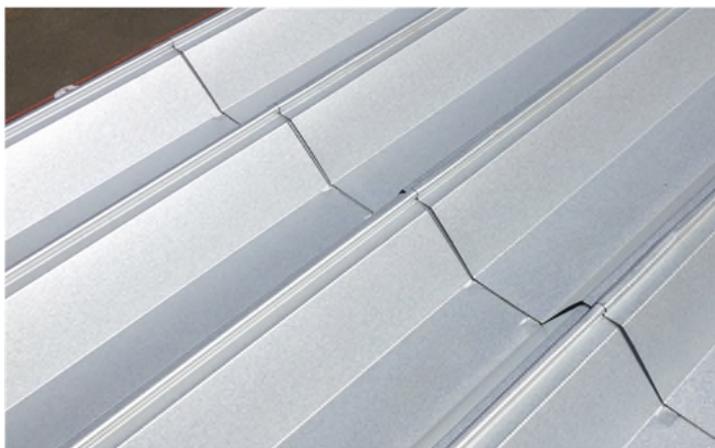
また、屋根先端部と壁をラジアル加工により一体化して見せたいけれどジョイント部の意匠にご納得いただけなかったお客様のご要望にもお応えすることが可能となりました。

加えて「フラットジョイント」は、折版ジョイント工法で業界初\*となるシングル葺き・2重葺きともに屋根 30 分耐火構造認定を取得しています。（\*当社調べによる）

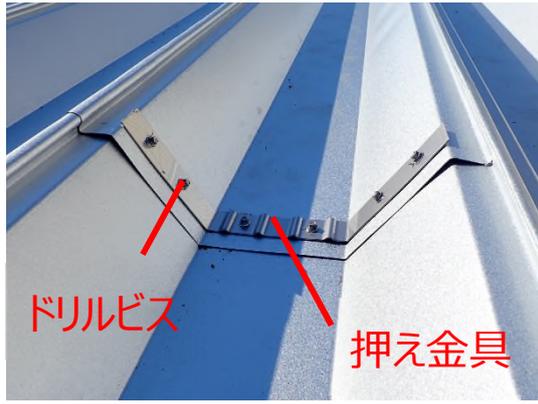
### 【商品概要】

商品名称：「フラットジョイント」（丸馳折版Ⅱ型ジョイント工法）

正式販売開始時期：2024年8月



## 従来工法



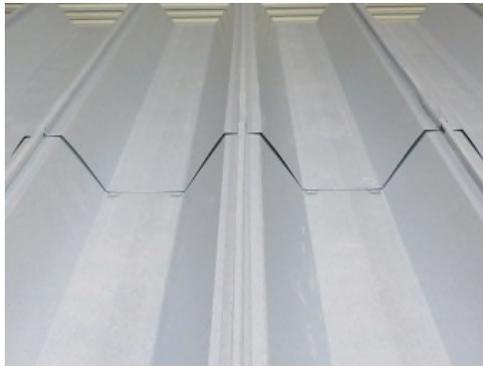
### (課題)

- ・意匠の毀損
- ・ビス穴に起因した漏水の発生
- ・雨水・埃・泥などの堆積物
- ・経年劣化などによる腐食・穴あきの発生



従来工法の課題を改善した新工法を開発

## フラットジョイント（丸馳折版Ⅱ型ジョイント工法）



### 【ジョイント工法が採用されるケース】

現場成型スペースがない

人手が足りない

急勾配の折版屋根

屋根～壁一体の意匠

断熱カバー改修

### 【特徴】

- ①業界初\*屋根 30 分耐火構造認定取得(\*当社調べによる)  
定尺ジョイント折版でシングル葺き・2 重葺きともに屋根 30 分耐火構造認定を取得。
- ②段差のない縦ジョイント  
下重ね屋根をプレス加工することで、段差のない平坦な縦ジョイントを実現。
- ③高い防水性能  
2,500Pa（水密仕様）でも漏水なし。
- ④少人数での施工が可能  
全て工場で生産するため、現場成型が不要となり人手や仮設、大型車両の運搬費などの低減が可能。
- ⑤敷地条件不問  
増改築等で新築時と同様な施工スペースが取れなくなってしまうような場合でも施工可能。
- ⑥断熱性能の向上  
カバー改修時、既存屋根の上に断熱材を敷き込むことにより断熱性能の向上が可能。

以上